

二次分析論文を検索する

- SSJDA から提供されたデータを用いて発表された論文等は、「成果物検索」画面から調べることができます。SSJDA Direct トップページ下の「成果物検索」ボタンをクリックしてください。



[English](#)

東京大学社会科学研究所
附属社会調査・データアーカイブ研究センター

ログイン

[ご利用マニュアル](#)

お知らせ

- ※夏季休業期間につき、2015年7月30日（木）から2015年8月23日（日）までデータ利用申請受付を停止します。
- ※学部学生の利用期限が3月31日であるため、3月中に提出された申請は4月以降の承認となります。
- ※学部学生のデータ利用期限は申請年度の3月31日までとします（2014年10月申請分より）
- ※ダウンロード期限は、ダウンロード提供日より30日間です。なお、ダウンロード期間が過ぎた場合は、再度利用申請を行ってください。
- ※教育目的でご利用の場合、データの利用期限は1年間になります。
- ※何かご不明な点がございましたら、ssjda-direct@iss.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。

- ◆ すでにIDをお持ちの方はこちらからログインをしてください

ID(メールアドレス):
パスワード:

[ログイン](#)

[*パスワードを忘れた方はこちらから](#)

- ◆ IDをお持ちでない方はこちらから新規登録をしてください

[新規登録](#)

[データ検索](#)

[成果物検索](#)

- 検索ワードを入力することで、該当する二次分析論文が一覧に表示されます。
（以下の例は、「家族」という検索ワードで全文検索を行った結果です）
※表示結果はテスト中の画面ですので、実際の表示とは異なることがあります。

[ログイン](#) > 成果物検索

全検索： 家族	利用調査番号： 	利用調査名：
成果物名(タイトル)： 	著者名： 	発表年： ~
表示順 発表年(降順) ▼		
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="内容をクリア"/>		

<< < 1 > >> 全97件

- 成果物一覧 -				
成果物名(タイトル)	著者名	雑誌名・書籍名・出版社名など	発表年月	利用調査番号
Competition for resources: A reexamination of sibship sex composition models of parental investment in Japan	Kristen S. Lee	PAA 2006 Annual Meeting Program	2015/11	0191
Depression in the United States and Japan: Gender, marital status, and SES patterns	稲葉昭英	Social Science & Medicine 61	2015/11	0191
「家族」する自由－家族はなぜ多様化したのか－	川上慎一		2015/11	0500 0550
Determinants of Marital Satisfaction in Japan, Korea, and China: A Comparative Analysis	加茂美則	科研費報告書	2015/11	0517
Impact of Fathers' Support and Activities on Mothers' Marital Satisfaction by Income Contribution during Economic Recession in Japan	大和礼子	Fathering A Journal of Theory, Research, and Practice about Men as Fathers Volume6 Number2 Spring 2008	2015/11	0517
共働き世帯における家事労働の分析	小野寺かな子		2015/11	0517
10代で結婚した男女の現在の生活状況からの一考察－「NFRJ03」の調査結果を用いて－	杉山智春		2015/11	0517
How Do We measure Educational Attainment? Effects of Sibship Size on Women's Education in Japan and Korea	平尾桂子	Comparative Research on Changing Family Structure in Northeast Asia :Japan, China, and Korea	2015/11	0191 0400 0517

- 「全検索」：成果物名、著者名、雑誌名・書籍名・出版社名、利用調査名に検索ワードが含まれている場合に、その調査がヒットします。
- 「利用調査名」「成果物名」「著者名」：それぞれの項目について検索ワードが含まれている場合に、その調査がヒットします。
- 「利用調査番号」：入力した調査番号のデータを利用した論文がヒットします
- 「発表年」：発表年の範囲で成果物を絞り込みます。

- 「利用調査番号」をクリックすると、その調査データの詳細画面にリンクします。

ログイン > 成果物検索

全検索:	利用調査番号:	利用調査名:
家族	<input type="text"/>	<input type="text"/>
成果物名(タイトル):	著者名:	発表年:
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
表示順		
発表年(降順) ▼		
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="内容をクリア"/>		

<< < 1 > >> 全97件

成果物名(タイトル)	著者名	雑誌名・書籍名・出版社名など	発表年月	利用調査番号
Competition for resources: A reexamination of sibship sex composition models of parental investment in Japan	Kristen S. Lee	PAA 2006 Annual Meeting Program	2015/11	0191
Depression in the United States and Japan: Gender, marital status, and SES patterns	稲葉昭英	Social Science & Medicine 61	2015/11	0191
「家族」する自由-家族はなぜ多様化したのか-	川上慎一		2015/11	0500 0550
Determinants of Marital Satisfaction in Japan, Korea, and China: A Comparative Analysis	加茂美則	科研費報告書	2015/11	0517
Impact of Fathers' Support and Activities on Mothers' Marital Satisfaction by Income Contribution during Economic Recession in Japan	大和礼子	Fathering A Journal of Theory, Research, and Practice about Men as Fathers Volume6 Number2 Spring 2008	2015/11	0517
共働き世帯における家事労働の分析	小野寺かな子		2015/11	0517
10代で結婚した男女の現在の生活状況からの一考察-「NFRJ03」の調査結果を用いて-	杉山智春		2015/11	0517
How Do We measure Educational Attainment? Effects of Sibship Size on Women's Education in Japan and Korea	平尾桂子	Comparative Research on Changing Family Structure in Northeast Asia :Japan, China, and Korea	2015/11	0191 0400 0517

概要

調査番号	0191
調査名	家族についての全国調査, 1999 (第1回全国家族調査, NFRJ98)
寄託者	日本家族社会学会 全国家族調査委員会 (寄託時:日本家族社会学会全国家族調査研究会)
利用申込先・承認手続き	利用方法の詳細は こちら SSJDAが利用申請を承認したときに利用できる
教育目的(授業など)の利用	研究のみ
学部生の研究目的(卒論)の利用	利用不可
利用期限	一年間
データ提供方法	ダウンロード
メタデータ閲覧・オンライン分析システム Nesstar	利用不可
調査の概要	<p>「全国家族調査 (NFRJ, National Family Research of Japan)」の計画は、家族社会学セミナーが日本家族社会学会へと発展的に解消する過程と同調しながら進行していった。その実施主体は日本家族社会学会全国家族調査委員会であるが、運営主体は会員有志で組織されたNFR研究会およびその幹事会である。</p> <p>NFRJの研究目的は、一言でいえば、家族研究のいっそうの進展を促進するためにデータを提供し、新しい知識を創造することに資するということである。もっと具体的にいえば、現代日本家族の社会的・文化的、ならびに人口学的な趨勢に関する質が高く、かつ信頼できるデータを収集すること、構築したデータを共同で利用すること（また既存データ【たとえば国の指定統計】を共同利用できるような積極的な運動を起こすこと）、そしてデータ構築を継続することである。現代日本社会は、世界の社会的状況の推移と密接に関わりながらきわめて速い速度の変化を遂げており、家族もその例外ではない。NFR研究会はこの事実を深く認識し、家族の変化に関わる個人の意識ならびにライフイベント経験の変異、および個人が認知する家族集団の時系列的な変化の過程を記述し、また説明することを目指し、個人ならびに家族に関して</p>

- 調査データの詳細画面からも、そのデータを利用して発表された成果物の一覧をみることができます。詳細データの「SSJDA データ貸出による二次成果物」のリンクをクリックしてください。

SSJDAデータ貸出による二次成果物	二次成果物一覧 こちら
調査票・コードブック・集計表など	[調査票]
	<p>調査票は「11」介護・看病の経験を含まない「一般調査票」とこれらの項目を含む「高齢者調査票」（58歳～77歳用）の2種類からなる。</p> <p>1) 回答者の情報：性別，生年月・年齢，生育地，最終学歴・卒業年，父親最終学歴，15歳時の父親の職業，初離家経験・年月，職業（就労有無，従業上の地位，職種，従業先規模，労働日数，労働時間，通勤時間），初職（就職年月，従業上の地位，職種，従業先規模）。</p> <p>2) 世帯の情報：本人年収，世帯人数，世帯構成，世帯主，住居タイプ，世帯年収。</p> <p>3) 配偶者の情報と夫婦関係：結婚地位，結婚年月，姓の異同，生年月・年齢，最終学歴，職業（就労有無，従業上の地位，職種，従業先規模，労働日数，労働時間，通勤時間），年収，健康状態，伴侶性（夕食，買い物・ショッピング），夫婦の家事参加（食事の用意，洗濯，風呂の掃除，育児・子どもの世話，親族の看病・介護），夫婦間サポート（心配事・悩み事の相談，能力・努力の評価，助言やアドバイス），夫婦の勢力関係，夫婦関係満足度（家事への取組み，育児や子どもとの関わり，家計の管理・運営，性生活，結婚生活全体，家族認知）。</p>

[ログイン](#) > [成果物検索](#)

全検索：	利用調査番号：	利用調査名：
<input type="text"/>	<input type="text" value="0191"/>	<input type="text"/>
成果物名(タイトル)：	著者名：	発表年：
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
表示順		
発表年(降順) ▼		
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="内容をクリア"/>		

<< < 1 >> 全39件

- 成果物一覧 -				
成果物名(タイトル)	著者名	雑誌名・書籍名・出版社名など	発表年月	利用調査番号
Competition for resources: A reexamination of sibship sex composition models of parental investment in Japan	Kristen S. Lee	PAA 2006 Annual Meeting Program	2015/11	0191
Depression in the United States and Japan: Gender, marital status, and SES patterns	稲葉昭英	Social Science & Medicine 61	2015/11	0191
How Do We measure Educational Attainment? Effects of Sibship Size on Women's Education in Japan and Korea	平尾桂子	Comparative Research on Changing Family Structure in Northeast Asia :Japan, China, and Korea	2015/11	0191 0400 0517
Leaving the parental home in post-war Japan:Demographic changes, stem-family norms and the transition to adulthood	福田節也	DEMOGRAPHIC RESEARCH VOLUME20	2009/06	0191
未婚化の要因：階層格差とイデオロギー	加藤彰彦	少子化の要因としての成人期移行の変化に関する人口学的研究	2009/03	0191 0400
ポスト育児期の女性と働き方－ワーク・ファミリー・バランスとストレス	西村純子	慶應義塾大学出版会	2009/03	0191
結婚の経験と形態	松田苑子	日本と中国における家族生活－マイクロデータ活用による基礎的比較分析(2)－	2009/03	0191 0400 0517
子との関係、親との関係	青柳涼子	日本と中国における家族生活－マイクロデータ活用による基礎的比較分析(2)	2009/03	0191 0517